

刈谷市バスのデザイン
原画提供生徒に記念品

近藤組が三好特別
支援学校の2人へ

【刈谷】総合建設業の近藤組（本社刈谷市一里山町、近藤純子社長）は26日、刈谷市公共施設連絡バスのラッピングデザインの原画を提供した三好特別支援学校（みよし市打越町）の生徒2人に、記念品を贈呈した。同社は、障害者らの芸術活動を支援し、企業との縁

をつなぐアティックアート（須藤伸枝理事長）の活動に参加。今回は連絡バスの



近藤社長（前列右端）と三好特別支援学校の生徒

ラッピング広告の スポンサーとなり、アティックアートの所属するアティリストの作品をデザイン原画に採用した。同校生徒の作品は、刈谷ハイウェイオアシスと刈谷市中心部を結ぶ東境線のバスに採用されている。

記念品贈呈式で、近藤社長は「持っている才能を存分に発揮して、素敵な絵を描いてほしい」と生徒に呼びかけた。木村豊校長は「大変ありがたい」と感謝していた。